

校訓「共創」

学校は、この変化の激しい社会の中で、子どもたち一人一人が個性として自立し、生涯を通じて地域社会の一員としてそれぞれの分野でたくましく生き抜いていくための、知・徳・体の調和のとれた育成を重視しながら、「生きる力」を身に付けさせるための教育を行わなければならない。

そして、今日の様な予測困難な時代にあっては、何事も、一人だけの力では成しえることが難しくなっている。これからは、ますます「仲間と力を合わせて社会や人生を創り上げる」その力が重要となっている。

そこで、港小学校では、個々の力の伸長を行いながら、これからの社会が必要とする協働する力に焦点を当てる。ここに集えたそれぞれの子どもたちが、異なる能力と個性を持つ者として互いを認め、「聴き合い」「学び合い」「高め合い」を行いながら成長する。このような相互関係を構築させる中で、自分に自信を持つ「独立自尊」と、力を合わせる「共生他尊」を身につけさせ、未来を創り上げていく力を培う。

子どもたちの、自らを信じ、主体的に、他者を敬いながら共に創り上げる力は、どのようなときでも、社会でよりよく生き抜き、輝き続け、豊かな人生を築き上げると力と考え、校訓を「共創」とする。